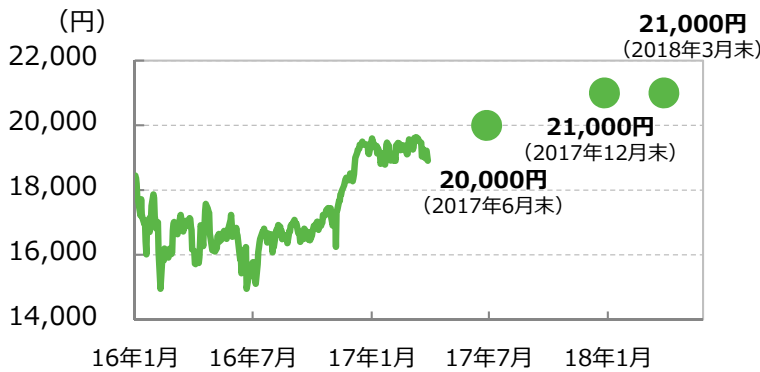


Market View

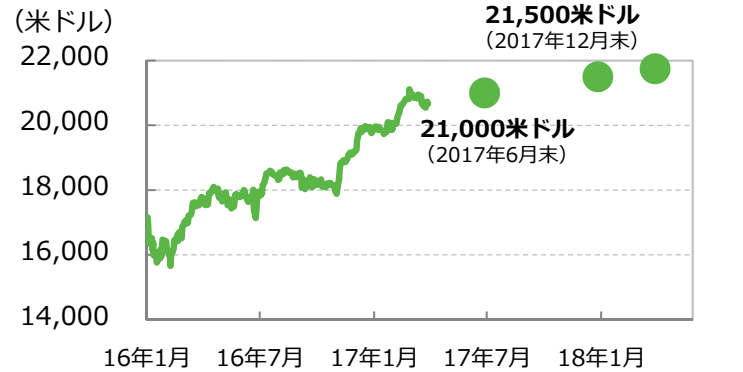
株式市場

日経平均株価：割安感から持ち直しへ



- 地政学リスクの高まりや米早期利上げ観測の後退から弱含むも、バリュエーション面からの割安感は強まっており、外部環境の改善と共に持ち直しへ。

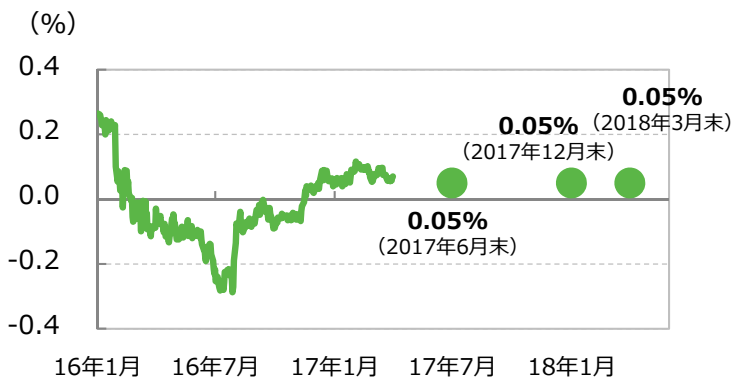
NYダウ：上値の重い展開



- 米景気は内需中心の回復が見込まれるが、バリュエーションや投資家動向からは割高感が懸念され、上値の重い展開を見込む。

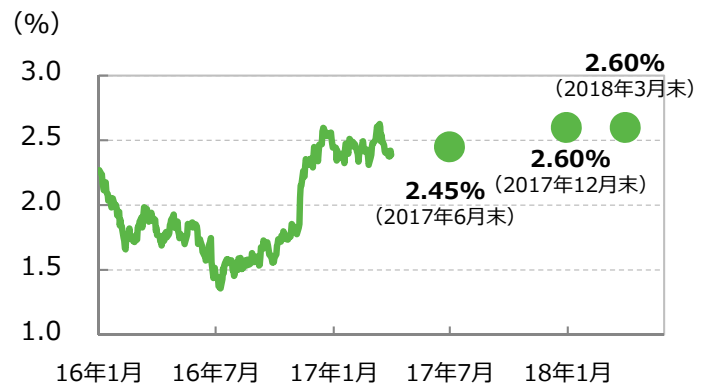
債券市場

日本10年国債：レンジ相場が継続



- 日銀が10年債利回りの上昇抑制スタンスを明確化していることからレンジ相場継続がメインシナリオ。
- ただし、インフレ期待が後退しリフレトレードが減衰、長期金利がマイナスまで低下する可能性がリスク要因。

米国10年国債：中長期的には緩やかに上昇



- 地政学・政治リスクへの警戒感が高まっており、長期金利は上昇しづらい状況。
- 中長期的には、FRBによる金融緩和と政策の正常化や、米国経済の底堅い成長から、長期金利は緩やかな上昇に転じると予想。

※実績値は2016年1月4日から2017年3月31日まで。2017年6月末、12月末、2018年3月末は当社予想。出所：Bloomberg

(1/2)

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

だいわすみぎん

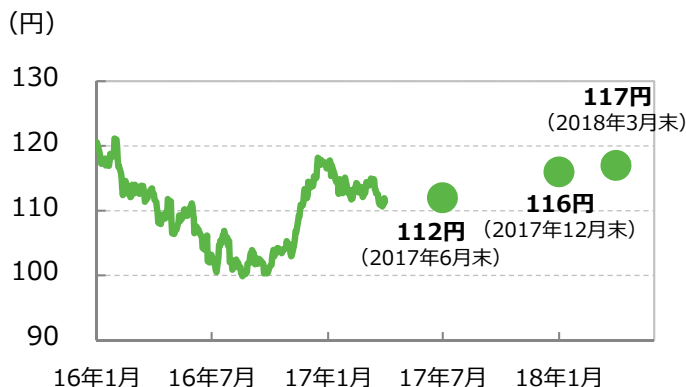
検索



Market View

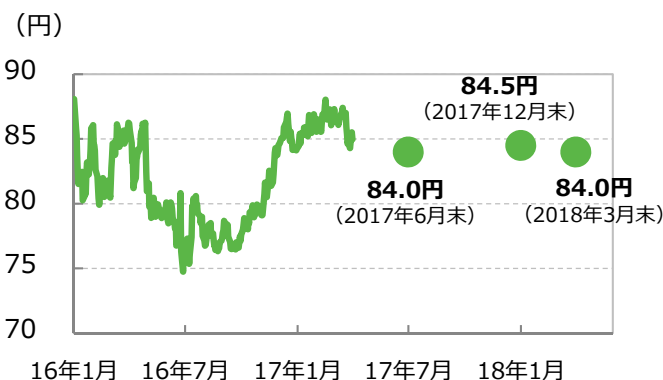
為替市場

米ドル/円：緩やかな米ドル高・円安へ



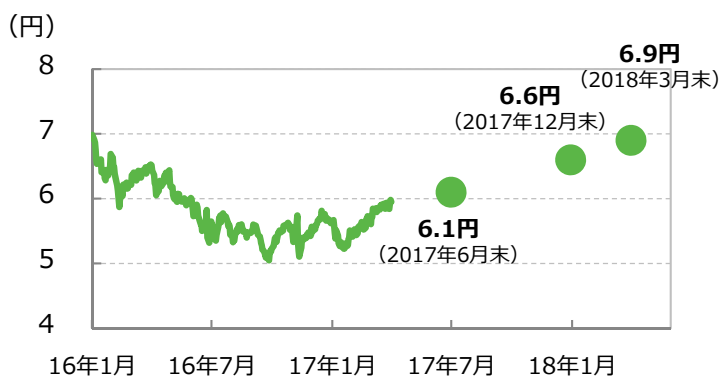
- 米国の重要法案審議の停滞や地政学リスクに留意する必要はあるが、米国景気は堅調でFRBによる利上げも続くと見られるため、緩やかな米ドル高とそれに伴う円安を予想。

豪ドル/円：レンジ内で推移



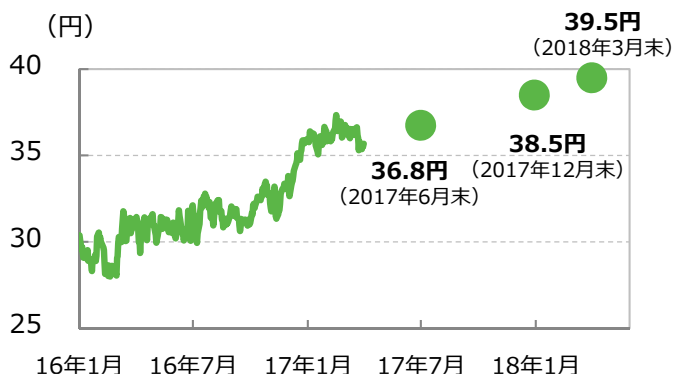
- 中国における資源の過剰在庫への調整圧力から資源価格の下落が見込まれる一方、米国の利上げやFRBのバランスシート縮小による円安の進行により、豪ドル円相場はレンジ内で推移する見通し。

メキシコペソ/円：緩やかな上昇基調



- 足元でNAFTA再交渉がソフトランディングするとの見方が徐々に強まりつつある。
- 年後半にかけて、その見方が一段と強まるに伴い、緩やかな上昇基調を継続すると予想。

ブラジルレアル/円：緩やかな上昇基調



- 政権の財政再建策には国内で反発が見られるが、着実に進行するとみられる。
- 物価上昇圧力の後退が続く中、中銀の断続的な利下げを通じた景気回復が期待でき、緩やかな上昇基調を予想。

※実績値は2016年1月4日から2017年3月31日まで。2017年6月末、12月末、2018年3月末は当社予想。出所：Bloomberg

(2/2)

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

だいwasumiぎん

検索

サイトはこちら

